

- 2.3 面 【特集】資格は多種多様 業務・事業に活用を 造園関連資格紹介
3 面 【学会の目・眼・芽】造園の公益性
(公社)日本造園学会幹事・筑波大学芸術系准教授 伊藤 弘
4 面 【ふるさと自慢】沖縄県 森根清昭 (海邦造園)
本島北部から南下する桜前線 沖縄全体を花で包み込む“造園力”
【緑滴】環境教育と公園管理 四宮 繁 (株四宮造園)
浜名湖花博 2014 3.21 開幕 花博 10 周年と都市緑化フェア同時開催

日造協会の方々への「日造協ニュース」は偶数月が PDF 版の配信で、印刷物の発送は行っていません。会員の方々へのメールニュースへの添付、日造協ホームページに掲載をしていますので、ご活用ください。



2014 年新年造園人の集いのようす (品川プリンスホテル「プリンスホール」)

2014 年新年造園人の集いは 138 人の世話人により 1 月 6 日、東京都港区高輪の品川プリンスホテル「プリンスホール」で開催され、造園の学界、官界、産業界をはじめ、広く関連業務に携わる方々約 500 人が参加して盛大に行われた。

2014 年新年造園人の集いは、有路信(一社)日本公園緑地協会副会長の進行で行われた。



丸田 頼一 会長

冒頭、世話人を代表し、丸田 頼一 (一社)日本公園緑地協会 会長が「昨年は 2020 年オリンピック・パラリンピックの東京開催が決まった。明るさを取り戻すという意味からスポーツは適している。今回の会場は千駄ヶ谷の競技場をはじめ、東京の東西にかけて配置される予定となっており、移動などで車窓から眺める東京の景観が素晴らしいと感じられる修景が期待される。個々の施設においては、バリアフリーなどへの配慮も重要だ。東京都はかねてから、海上公園を整備してきたが、この宝物を活かす機会にもなる。フランスのシラク元大統領がパリのシャンゼリゼ通りのマロニエの街路樹を 2 列にし、パリの担当職員は大変な苦労をされたと思うが、そのような工夫が東京であってもいい。近年の東京を考えると暑さ対策も重要であり、マラソンコースは東京の名所を結ぶコースが検討されているが、隅田川沿いの涼が得られるコースも考えられる。東京都は街路樹に力を入れているが、こうした注目を集める部分で、街路樹が優れないところも見受けられるが、こうした東京オリンピックに向けた対応をはじめ、造園人が一つになって、さまざまな課題に取り組んでいきたい」と述べた。



下村 彰男 会長

学界からは下村 彰男 (公社)日本造園学会 会長が「公益社団法人となり、社会に対するより幅広い対応が求められ、会費からの脱皮なども含め、学会は大きな転換期となっている。これまで公園緑地協会にお願いしていた造園 CPD の運営についても学会に専任者を置き、専門

職大学院の審査にも取り組むなど、審査・認定事業も大きな柱になっている。また、学会事業には、社会への発信もあるがこの部分が力不足であり、東日本大震災の復興に関しても『復興の風景像』をまとめるなどしてきたが、今一つといった感がある。現在、『造園施工示方書』の発行を日本造園建設業協会をはじめとする産業界と検討しているが、今後、官界からのご協力をいただき、取り組んでいきたい。造園の振興は、学会だけでできるものではなく、産官の協力が不可欠であり、震災だけでなく、さまざまな自然災害等への対策にも取り組んでいかなければならないと思っている。こうした個々の取り組みをはじめ、学会のあり方など、ぜひ皆様から学会への要望をお聞かせいただきたい」と述べた。



舟引 敏明 課長

次いで官界からは、舟引敏明 国土交通省都市局公園緑地・景観課長が「東日本大震災の復興はさまざまな権利の調整などもあり、なかなか思うように進んでいないが、国交省の懸案事項であり、今後も積極的に取り組んでいかなければならず、東北のランドスケープの復興が大きな課題である。また、都市づくりは国際競争の時代においても重要になっており、効率だけでなく、美しさも欠かせない要素となっている。新たな都市像としてコンパクトシティも示されているが、集約において取捨が必要で、実現には困難を伴うがここでも緑は欠かせないものであり、技術が不可欠だ。理想と現実の狭間の中で、いかに理想に近づけられるかは、技術と熱意である。屋上や壁面など特殊緑化技術が普及しているが、その他の公園施設、スポーツ施設をはじめ、維持管理技術も必要となってくる。いずれにしても造園の技術があつてこそであり、大いに技術力を発揮していただきたい」と述べた。

星野一昭環境省自然環境局長は、「国立公園の国際化が進んでおり、昨年は仙台でアジア国立公園会議が 6 つのテーマで開かれた。日本は保護地域・国立公園と

樹林

日造協監事、(株)タイキ 代表取締役

矢野 幸吉



みどりと活気のある街 大阪 将来に向かって

かつて大阪は<水の都><天下の台所>と称され、その賑わいは当時の江戸に比肩するものでした。蔵屋敷、問屋、両替商が立ち並び、世界で初めて先物取引が行われるなど、日本経済の中心的役割を果たしていたのです。

その担い手が商人であったことはご承知の通りであり、インフラ整備においては彼らの投資額が幕府の支出額を遥かに凌ぐ、それ程の勢いだったそうです。

毎年開催される冬のイベント「OSAKA 光のルネサンス」の会場となっている淀屋橋、堂島川。これらの架設、治水事業はこの時代の豪商の手によるものです。大正時代を含めると中之島公会堂も民間人の投資による作品となります。

時は移り昭和、高度経済成長を迎える頃からこの大阪商人の気質が次第に薄れ始め、残念なことですが、公共資本の整備と保全はお役所にお任せといった風潮に流れていきました。

正の産物を創出した先人たちは今の街並み、風景をどう眺めているのでしょうか。嘆いていらっしゃる様子が容易に窺えます。

そういった中でも大阪は、少しずつ変化の兆しを見せつつあります。街を美しくしよう、緑を増やそうという機運の高まりが大きくなり始めました。

大阪府は「みどりの大阪推進計画」を策定し、多様な緑化施策を進めています。前段で<お役所任せ>と述べましたが、このプランはなかなか骨のあるものです。官主導ではありますが、たくさんの府民、

民間企業・団体が参画し、緑の街づくりにより自己の資本を投じています。本家本元である私たち業界は総力を結集して協力しなければなりません。

この計画の一部をご紹介します。

①大阪府全域での取り組み

西側沿岸部から東側山間部までを道路・河川・公園を中心に既存の緑地と新設の緑地を繋ぎ合わせて風の抜けていく道をつくる。

②周辺山系の再生、彩りある森づくり
生駒山を屏風に見立て、花木や紅葉樹等を植樹し、適切な管理を行い再生する。

③臨海部の海辺づくり

堺臨海部の産廃処分跡地において共生の森をつくり、ふれあいの場として活用する。

これ以外にも多くのプロジェクトが実施されており、すべてにおいて<府民協働>というフレーズが叫ばれています。官が発注し、業者が請け負う、従来型の街づくりから脱皮を遂げつつあるようです。私たちただの施工業者という立場から企画提案のできる専門家へと転換を図り、そして惜しみなくそれを提供していかなければなりません。

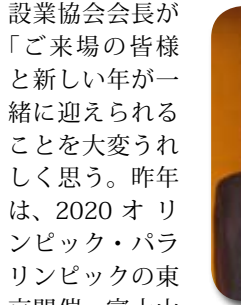
ボクサーのモハメド・アリ氏は「他者に貢献することは、この地球であなたの居場所に払う家賃である」と語っています。名言です。大阪が<みどりの活気のある街>と称賛される。そんな日がやってくる。そのためにひとつでも多く貢献したいものです。



星野 一昭 局長

減災について発表したが、今年は 10 年に 1 度の世界国立公園会議がオーストラリアで 11 月に開催予定であり、同テーマについて発表する方針だ。来年度は補正を含め、積極的に観光立国という観点から国立公園事業に取り組んでいくが、世界にアピールすることが地域を改めて見直す機会にもなる。また、鳥獣保護についてもシカによる被害が増加しており、抜本的な見直しが必要になっている。国立公園については、釧路湿原の指定後、実に 27 年ぶりに新たな国立公園として、沖縄の慶良間諸島を 3 月 1 日に指定することとなっている。この前後にはサンゴウィークを予定しており、こうした取り組みを沖縄の振興にもつなげていきたい。そのほか、新宿御苑が環境省の所管となっているが、昨年はキクの大づくりをチャネルの協力により、ベルサイユ宮殿で行った。環境省は予算も人も少ないが、皆さんの協力で積極的な取り組みを進めていきたい」と述べた。

次いで、藤巻司郎 (一社)日本造園建



藤巻 司郎 会長

設業協会会長が「ご来場の皆様と新しい年が一緒に迎えられることを大変うれしく思う。昨年は、2020 オリンピック・パラリンピックの東京開催、富士山の世界文化遺産への登録が決まるなど、明るい未来が展望できる。今年もこの日の出会いを大切にし、素晴らしい一年になりますことを祈念している。ご唱和を」と会場に呼びかけ、乾杯を発声し、歓談となった。

閉会に際して、枝吉茂種 (一社)ランドスケープコンサルタンツ協会 会長が、「東京オリンピックの開催に向けた取り組み、東日本大震災の震災復興の推進など、今年



枝吉 茂種 会長

は造園業界がますます活躍し、発展する年としよう」と会場に呼びかけ、三本締めで新たな年の始まりを締めくくった。

多様化する造園空間の整備・保全・再生に対応し、材料、資材、装置、工法などに関する知識の習得が必要不可欠となっています。また輻輳する工事を安全かつ円滑に進めるためには、作業の安全の確保、第3者への危害の防止など特に安全管理面の技術・技能の研鑽が求められています。このため、業務の遂行上取得が必要不可欠な国家資格をはじめ、造園の対象に応じてより高い品質の確保等に資する民間資格の取得を通じて技術者・技能者の育成を図ることが造園産業界の大きな課題となっています。造園工事に必要な資格は各種ありますが、大きく分類すると、造園工事業の営業許可に必要な資格、受注に必要な資格、工事施工実施に必要な資格に分類され、造園の事業領域拡大にともない、指定管理者や山林分野での仕事での資格も必要になっています。本号では造園関連の資格の概要をご紹介します、今後も関連情報を掲載予定です。

造園関連資格			
営業許可、受注、工事施工実施に必要な資格別			
分類	資格名	法令等	備考
造園工事業許可	1級造園施工管理技士	建設業法	専任技術者として営業所ごとに常駐 軽微（1件の請負代金が500万円（消費税及び地方消費税を含む）未満の工事）な建設工事を除く
造園工事の受注	1級造園施工管理技士 2級造園施工管理技士 街路樹剪定士 植栽基盤診断士 造園技能士 など	建設業法	特定建設業 一般建設業 発注機関の応札要件
造園工事の施工	1級造園施工管理技士 2級造園施工管理技士 街路樹剪定士 植栽基盤診断士 登録造園基幹技能者 造園技能士 など	建設業法 労働安全衛生法 など	配置予定技術者の要件
	車両系建設機械運転者 高所作業車運転者 移動式クレーン 統括安全衛生責任者 職長・安全衛生責任者 玉掛作業者 立木の伐木作業者 チェーンソー作業者 刈払機取扱作業者 振動工具取扱作業者 など		資格を要する作業 免許 技能講習 特別教育 など

国家資格、民間資格の別	
国家資格	造園施工管理技士（1、2級） 土木施工管理技士（1、2級） 技術士 造園技能士（1～3級） など
民間資格 （入札要件、特記仕様書などで公的に活用されている資格）	街路樹剪定士 植栽基盤診断士 登録造園基幹技能者 樹木医 公園管理運営士 ジオトープ管理士 林業技士 RCCM など

造園施工管理技士

「造園施工管理技士」は、1級と2級に分かれ、1級は、営業所ごとに置かなければならない専任の技術者や工事現場ごとに置かなければならない主任技術者、監理技術者となることができ、造園工事の施工計画を作成し、現場の工程管理、資材等の品質管理、作業の安全管理等の業務を行う。2級は建設業法による一般建設業の営業所における専任技術者や、工事現場における主任技術者となることができ、現場の工程管理、資材等の品質管理、作業の安全管理等の業務を行います。

1級と2級の受験資格は、学歴または

資格により異なり、それぞれに設定された実務経験年数が必要です。1級の場合、大学の指定学科卒業で3年以上、高等学校の指定学科卒業で8年以上の実務経験が必要で、2級合格者の場合は、合格後3年以上の実務経験がある場合は学歴を問わず受験できる等となっています。

試験内容は、土木工学や施工管理法等から出題される学科試験と、施工管理法についての実地試験となっています。造園工事の中核となる資格であり、受験資格に実務経験が含まれることから、造園関連企業等で実務経験を積みながらの受験が一般的であり、近年、施工管理技士国家資格の中で最難関の資格となっており、日造協で開催する受験対策講習

資格は多種多様

特集

造園関連の

会をはじめ事前講座が各種団体によって企画されています。

造園施工管理技士の資格取得により、造園工事業の技術者として活躍することができ、現場の第一人者としての判断などが求められます。

街路樹剪定士

街路樹剪定士は、（一社）日本造園建設業協会の認定資格です。受験資格は、次のいずれかの要件が必要です。①1級造園技能士である者、②2級造園技能士で当該資格取得後2年以上の剪定業務経験がある者、③樹木の植栽工事または剪定業務に直接従事した実務経験の合計が7年以上ある者。

街路樹剪定士は、樹木の生態などの深い知識と剪定に関する技能を併せ持ったスペシャリストに与えられるもので、技能のみならず、幅広い知識が必要です。事前に研修会が開催されますので、受講が必要となります。

街路樹剪定士の資格を「入札参加要件」とする事例も増え、北海道、東京都、神奈川県、札幌市、盛岡市、千葉市、習志野市、佐倉市、市川市、長野市、伊勢市、四日市市、宇治市、明石市、岡山市、広島市、福山市などで採用されています。

そのほか、「常駐」を義務付ける事例も増加。東京都、長野県、福井県、和歌山県、旭川市、秋田市、松戸市、福井市、京都市、芦屋市、下関市などで、街路樹維持管理業務の入札条件、応募資格要件、剪定業務委託仕様書、共通仕様書などに明記された。街路樹剪定士による「指導」は、大阪府や鹿児島県、岐阜県及び岐阜県内市町村、札幌市、横須賀市、長野市、中野市で、仕様書や要項、業務内容や基準として採用。街路樹剪定士による「見

本剪定」を東京都、横浜市、京都市などで導入されています。

植栽基盤診断士

植栽基盤診断士は、（一社）日本造園建設業協会の認定資格です。植栽基盤診断士は、植栽地の土を調査・診断し、改良していくための総合的な知識を有する技術者です。受験資格は、植栽基盤診断士補修了者であることに加え、1級造園施工管理技士、1級造園技能士、樹木医、技術士、RCCM、RLA、2級造園施工管理技士、2級技能士で造園に関する実務経験2年以上、造園に関する実務10年以上のいずれかであることが条件となっています。

また、植栽基盤診断士の資格を（独）国際協力機構東京国際センターが「入札等の参加要件」に採用。九州地方整備局国営吉野ヶ里歴史公園事務所、東京都、北九州市で、入札公告や特記仕様書などに明記。植栽基盤診断士を「入札時の評価」として、関東地方整備局国営昭和記念公園事務所、九州地方整備局福岡国道事務所、内閣府沖縄総合事務局一部国道事務所、長野県、佐賀県が採用しています。

造園技能士

「造園技能士」は、国家資格である技能検定制度の一種で、都道府県知事が実施する、造園に関する学科及び実技試験に合格した者です。

登録造園基幹技能者

基幹技能者制度は、熟達した作業能力と豊富な知識を持ち現場をまとめ、効率



建設業界の皆様へ

建退共への加入のすすめ

福祉の増進と企業の振興のための国の退職金制度です

- 17万建設事業所が加入、298万人の建設現場の就業者が退職金支給対象となっています。
- これまでに累計で216万件、1兆5,191億円の退職金をお支払いしています。

建設工事の第一線で働く優秀な人材確保にも寄与！

◎法律に基づき運営される国が作った制度

◎建退共加入は「経営事項審査」で加点評価

◎国からの財政上の支援（国の助成により掛金の一部が免除）

◎便利な提携施設の割引サービス

特長

◎掛金は全額非課税（損金または必要経費に算入できます）

◎複数の企業間を就業しても通算して退職金を支給

◎加入の手続きは簡単（各都道府県の建退共支部で加入）

●加入できる事業主
建設業を営む事業主

●対象となる労働者
建設業の現場で働く方

●掛金は一日310円
（加入労働者ひとり）

独立行政法人 勤労者退職金共済機構

建設業退職金共済事業本部

〒170-8055東京都豊島区東池袋1丁目24番1号

TEL 03-6731-2866 FAX 03-6731-2895

建退共

検索

主な造園関連資格の実施日程（平成26年度）							
認定資格の名称	分類	特 性	申込期間	試験日	合格発表日	認定・実施機関	
造園施工管理技士	施工管理	1, 2級	1級・2級 5/19～6/2	1級学科 9/7 1級実地 12/7 2級学科・実地 11/16	1級学科 10/9 1級実地 H27.3/4 2級学科・実地 H27.3/4	国土交通省 全国建設研修センターが実施機関	
土木施工管理技士	施工管理	1, 2級	1級 4/1～15 2級 4/14～28	1級学科 7/6 1級実地 10/5 2級学科・実地 10/26	1級学科 8/20 1級実地 H27.1/13 2級学科・実地 H27.2/5	国土交通省 国建設研修センターが実施機関	
造園技能士	施工	1, 2, 3級			1・2級学科 1・2級実地 3級学科 3級実地	厚生労働省 都道府県の職業能力開発協会が実施	
登録造園基幹技能者	施工		開催日の2週間前まで	10月～2月	3月	日本造園建設業協会 日本造園組合連合会	
街路樹剪定士	植栽管理	「街路樹剪定士研修会」とともに、各支部へお問い合わせのうえ、お申込み下さい。					日本造園建設業協会
植栽基盤診断士	植栽土壌	植栽基盤診断士 植栽基盤診断士補	学科8/16～31 実技10/10～24	学科9/21 実技11月中	学科10月上旬 実技12月	日本造園建設業協会	
			会場により異なる		7月		
技術士・技術士補	計画設計	建設部門：森林総合技術監理：環境部門…	1次 6/13～7/1 2次 4/14～5/8	一次試験 10/13 二次試験筆記 8/2.3 二次試験口頭 11月～1月	一次 12月 二次 筆記10月 二次 口頭 3月	文部科学省 日本技術士会が実施機関	

業務・事業に活用を

資格概要紹介

的に作業を進めるためのマネジメント能力に優れた技能者を専門工事業団体が資格認定したもので、平成7年に建設省がその育成を求め、翌年民間資格としてスタート。平成20年1月の建設業法施行規則改正で、「登録基幹技能者制度」が位置付けられ、同年4月以降に国土交通大臣が登録した機関が実施する登録基幹作業種類別の資格者等一覧表

業務内容			資格		
			免許	技能講習	特別教育
クレーン等	移動式クレーンの運転	つり上げ荷重5 t以上 つり上げ荷重1 t以上5 t未満 つり上げ荷重1 t未満	○	○	○
	玉掛け	つり上げ荷重1 t以上 つり上げ荷重1 t未満		○	○
建設・荷役運搬機械等	車輛系建設機械の運転（整地、運搬、積込み、掘削及び解体用）	機械重量3 t以上 機械重量3 t未満		○	○
	車輛系建設機械（基礎工用）	機械重量3 t以上 機械重量3 t未満		○	○
	高所作業車の運転	作業床の高さ10 m以上 作業床の高さ2 m以上10 m未満		○	○
	不整地運搬車の運転	最大積載量1 t以上 最大積載量1 t未満		○	○
	フォークリフトの運転	最大荷重1 t以上 最大荷重1 t未満		○	○
	ショベルローダー、フォークローダーの運転	最大荷重1 t以上 最大荷重1 t未満		○	○
ゴンドラ	ゴンドラの操作				○
巻上げ機	動力駆動の巻上げ機の運転				○
グラインダー	研削といしの取替又は取替時の試運転				○
溶接	ガス溶接・溶断 アーク溶接・溶断			○	○
粉じん	常時特定粉じん作業に係る業務				○
除染	除染業務等				○

業務内容	資格	
	技能講習	免許
・型わく支保工の組立又は解体	○	
・つり足場、張出し足場又は高さ5 m以上の足場の組立、解体、変更	○	
・高さ5 m以上の鉄骨の組立、解体、変更	○	
・軒高5 m以上の木造建築物の組立等	○	
・高さ5 m以上のコンクリート造の工作物の解体、破壊	○	
・掘削面の高さが2 m以上の地山の掘削	○	
・土止め支保工の切ばり、腹おこしの取付け、取外し	○	
・ずい道等の掘削、ずい道支保工の組立等	○	
・第1種及び第2種酸素欠乏危険場所における作業	○	
・掘削面の高さが2 m以上の岩石の採取	○	
・コンクリート破砕器を使用する破砕	○	
・アセチレン溶接装置等による金属の溶接等		○
・放射線業務に係る作業		○
・原動機の定格出力7.5KW以上、支間350m以上、最大使用荷重200kg以上の機械集材装置及び運搬索道の組立、解体、運搬等		○
・石綿等を取り扱う作業	○	

技能者講習の修了者は、登録基幹技能者として認められ、経営事項審査の加点評価（3点）の対象となりました。

（一社）日本造園建設業協会と（一社）日本造園組合連合会が合同で実施する登録造園基幹技能者講習の受験資格は、造園工事の実務経験10年以上と、職長経験3年以上（職長教育修了証の写し）、1級造園技能士の保有が必要です。

その他

- 造園・環境緑化産業振興会の構成団体が実施する資格制度
- ・環境緑化樹木識別検定（日本植木協会）
樹木の識別に関する知識を習得し、よりよい環境の形成に役立てることが目的。1～3級・初級の認定を行う。
- ・登録ランドスケープアーキテクト（RLA）（ランドスケープコンサルタンツ協会）
ランドスケープアーキテクトとして実務を遂行するために必要な「一定の知識と技量からなる能力」を試し、個人をRLAとして認定する制度。
- ・公園施設製品安全管理士（日本公園施設業協会）
公園施設の設計・製造・施工、維持管理業務の成果の安全性を判定し、その安全性を確保する業務を行う者。
- ・公園施設製品整備技士（日本公園施設業協会）
公園施設製品安全管理士の指導管理・監督のもとで、公園施設の点検・調整・修繕等、整備全般に関する業務を行う者。

- ・運動施設施工技士（日本運動施設建設業協会）
運動施設建設及び維持管理に関する技術の研究・開発により、改善・向上を行い、運動施設の施工に対する信頼性と地位を高め、運動施設の整備充実と国民の健康づくりに寄与することを目的に運動施設の施工等に携わっている専門技術・技能者の資格を認定する。

その他の団体が実施する資格制度

- ・街路樹診断士（街路樹診断協会）
- ・公園管理運営士（公園財団）
- ・樹木医・樹木医補（日本緑化センター）
- ・スカイフロントコーディネーター（NPO 屋上開発研究会）
- ・シビルコンサルティングマネージャ造園部門（RCCM、日本建設コンサルタント協会）
- ・林業技士（日本森林技術協会）
- ・造園修景士（日本造園修景協会）
- ・ビオトープ管理士（日本生態系協会）
- ・芝草管理技術者（NPO 日本芝草研究開発機構）
- ・水景士（日本水景協会）
- ・緑の安全管理士（緑の安全推進協会）
- ・農薬管理指導士（都道府県）
- ・環境カウンセラー（環境省による登録制度）
- ・生物分類技能検定（自然環境研究センター）
- ・グリーンアドバイザー（日本家庭園芸普及協会）
- ・エクステリアプランナー（日本建築ブロック・エクステリア工事業協会）

ぜひ、企業として責任持った社員育成のために、必要な資格とさまざまな資格を取得し、事業の拡充にお役立てください。

学会の目・眼・芽 第53回

造園の公益性

（公社）日本造園学会幹事・筑波大学芸術系准教授 伊藤 弘

今期（2013年度）から造園学会で財務タスクフォース担当幹事を務めております。公益法人となった造園学会の安定運営を目標に、その財務体制や関連するルールづくりと、公益法人としての学会活動・運営に関して財務面から整理・検討を行おうとしております。

造園学会は学術団体としてその公益性が認められ、公益法人になったのですが、翻ってみると（今さらいうまでもありませんが）造園そのものが公益性のある領域です。造園の知識と技能をもってつくりあげた空間や風景は、その利用価値と存在価値が広く社会によって享受されています。しかし、その公益性ゆえになかなか価値が見いだされづらいと思います。それは、空間や風景の享受者が限定もしくは特定されないため（だから公益性があるといえるのですが）といえます。

筆者は現在、筑波大学大学院の世界遺産専攻で開発観光計画を担当しております。当専攻に入学してくる学生にとっては、造園学は馴染みの薄い（ない）学問分野です。

当専攻には西洋史、民俗学、芸術文化、哲学、建築史等学部時代に様々な専門性を培った学生たち（大学院大学のため、当専攻は大学院生しかおりません）が、ユネスコの世界遺産にとらわれずに広く自然遺産・文化遺産を対象に様々な観点から取り組んでいます。世界遺産と観光の関係や文化的景観に関心ある学生たちは多く、これらの学

生たちと一緒に研究に取り組んでいます。すると、造園の持っている知識や技能で対処できる事象が多く、学生たちから改めて「『造園』とは何か教えてください」などと聞かれることもあります（やはり「造園」は庭だけを扱っているというイメージが強く、意外に思うみたいです）。

自然遺産や文化遺産の保護・保存に携わっている、建築史や文化資源の専門家からは、造園の持つ知識や技能が求められています。自然遺産や文化遺産は、先人たちが作り上げ残してきたものに対して、われわれ現代人がそこに価値を見出した結果です。自然遺産や文化遺産は土地と深く結びつき、その立地する地域社会の中で成立してきました。今までは、その「遺産」単体の保存および修復に主眼が置かれてきました。しかし、保存や修復活動がひと段落した現在、改めてその立地する土地や地域社会における、観光やまちづくりなど遺産の保護・保存を伴った様々な活用が求められており、これはまさに造園の領域といえます。一方、文化遺産の保護・保存も含めた管理・整備に造園の専門家がなぜ関わるのか分からない、といったことを言われたこともあります。

「造園」が対応する領域の全体は、まだまだ「知る人ぞ知る」状態であり、学会としてもその知識や技能の幅広さ、奥深さを伝えていかなければ、と思うのです。

本島北部から南下する桜前線 沖縄全体を花で包み込む造園力

沖縄では年が明けると、春の訪れを感じさせる鮮やかなピンク色の桜が咲き始めます。

1月中旬には桜も満開となり、日本一早い「名護さくら祭り」が開催されます。

沖縄の桜は、緋寒桜（ヒカンザクラ）で本土のソメイヨシノとは違い、花は濃いピンク色で花が咲いた後も散りにくいのが特徴です。

また、沖縄の桜前線は、沖縄本島北部から南部へと南下し、先に寒くなる北部から咲き始め本土の桜前線とは真逆です。



その他の関連イベントとして「沖縄花のカーニバル」は、沖縄全県へ花を愛し育てる心を根づかせ、美しい花々でお・も・て・な・し・ができる「花と心を咲かせるオキナワンホスピタリティ」を展開しています。

また、2月に入ると球春告げるプロ野球キャンプが、県内各地で行われ10球団の春季キャンプが沖縄を賑わせております。

私たちの事業所がある宜野湾市でも「南国の花で横浜DeNAベイスターズを迎えよう」とキャンプ地周辺を南国沖縄の花で埋め尽くし、選手、球団関係者や来場者を気持ちよく、迎えるために毎年花の植栽を実施しております。

イベントは、宜野湾市、観光振興協会、地元造園業者が主催し、多数の市民がボランティアとして参加し年々規模を拡大しております。



沖縄県では従来の自然景観に加え沖縄全体を花で包み込むトロピカルリゾートアイランドとしてのフラワークリエイション事業も発注されるようになりました。



花のカーニバルのようす

沖縄キャンプ地グルメ



スイーツ「おやまパイ」



沖縄そば『そば処 根夢 伊佐店』ミックスそば（大）680円

浜名湖花博 2014 3.21 開幕

浜名湖花博 10 周年記念事業・第 31 回全国都市緑化しずおかフェア

浜名湖花博 10 周年記念事業・第 31 回全国都市緑化しずおかフェアとなる「浜名湖花博 2014 ～花と緑の祭典～」が開幕する。

フェアのテーマは、「花と緑のオーケストラ～水辺で奏でる未来の暮らし～」。会期中 80 万人の入場者を見込んでいる。

会場は 2 公園で、はままつフラワーパークは 3 月 21 日に開場、浜名湖ガーデンパーク会場は 4 月 5 日に開場し、両会場ともに 6 月 15 日まで、来場者に花と緑の素晴らしさをアピールする。

はままつフラワーパーク会場は、1,300 本の桜と 50 万球のチューリップが競演、同公園オリジナル品種をはじめ、会場と明治神宮でしか見られない品種を含め、720 種、100 万本の花菖蒲が咲き誇り、幻の花といわれるヒマラヤの青いケシが 200 本の大展示となるほか、花博開催を機に新たに整備した「ウェルカムガーデン・スマイルガーデン」も豊富な花で彩られる。浜名湖ガーデンパークは、2,000 品種、100 万本の草花で春から初夏の会場を鮮やかに演出。石原和幸氏の特別展示

ガーデンも設けられる。

実施主体の浜名湖花博 10 周年記念事業・第 31 回全国都市緑化しずおかフェア実行委員会は、①静岡県持の持つ様々な魅力の発信、②参加と「協働」による多様な試みと交流、③花と緑あふれる「暮らし」の体感や「産業」「文化」の創造への挑戦、を開催方針に掲げ、会場の効果的な整備や運営を行うことによって、花や緑が年月を経るほどに社会と人の営みに彩りや潤いをもたらすことなど、その魅力を発信する。

また、「浜名湖花博」に参加した数多くの県民・市民の活動が「浜名湖ガーデンパーク」のボランティア活動や花や緑を地域に広める県民・市民の活動などに継承されていることから、活動者同士の交流を促進し、県民による花と緑の祭典として「花の都しずおか」を体現する様々な取組を実施し、花博によって生まれた質の高い「場」を活用しながら、植物と暮らしのかかわりを様々な演出し、花と緑を中心とした産業の振興や、花と緑にあふれた文化の創造に挑戦するとしている。

事務局の動き

- 【1月】
6月・新年造園人の集い（東京）
10月・新春造園界の集い（大阪）
16月・登録造園基幹技能者講習（愛知）～17月
17月・沖縄総支部・支部交流会
19月・第40回全国造園デザインコンクール審査会
20月・造園・環境緑化産業振興会事務局会議
21月・社会保険未加入対策講習会（埼玉県支部ほか）
24月・総務委員会（経営環境改善部会）
28月・「植栽基盤整備ハンドブック」編集委員会
30月・九州総支部・支部交流会
登録造園基幹技能者講習（広島）～31月
31月・沖縄国際洋蘭博覧会審査会
社会保険未加入対策等講演会（山梨県支部）

- 【2月】
3月・総務委員会（財政・運営部会）
5月・造園関係総合講習会（福井県支部ほか）
6月・総務委員会（広報活動部会）
・運営会議
7月・第2回「地域リーダーズ」勉強会 ～8月
12月・技術委員会（調査・開発部会）
・社会保険未加入対策講習会（千葉県支部ほか）
13月・登録造園基幹技能者講習（東京）～14月
15月・第40回全国造園デザインコンクール表彰式
21月・社会保険未加入対策講習会等（岩手県支部）
24月・第2回登録造園基幹技能者講習試験委員会
・第2回造園施工管理技術検定委員会
25月・造園・環境緑化産業振興会事務局会議
26月・登録造園基幹技能者講習委員会



環境教育と公園管理

四宮 繁
(株)四宮造園

10月は造園フェスティバル「花と緑で美しい日本を」テーマにイベントを行っております。

北海道では毎年、会場は国営滝野すずらん丘陵公園で行っていましたが、今年はクマガ公園内に出没したため、会場を変更して開催いたしました。

イベントでは家族や子どもたちなどに環境教育の企画が多く、沢山の人が参加し楽しんでおり、造園業界をPRしております。

これからの公園運営上、環境教育は重要であると考えます。当社も指定管理の現場を通して、環境教育の場所の提供または独自の企画を行っております。

環境教育推進法の環境教育とは「環境の保全についての理解を深めるために行われる環境の保全に関する教

育及び学習をいう」となっております。自然観察、落ち葉のアート教室などのイベント型プログラム、樹木管理、堆肥づくりなどの体験型プログラム、公園内では環境について学習できるように、掲示板で植物観察ポイント、ガイドマップと、利用者の方に公園内の緑にふれあってもらいながら学習し、利用してもらう。単に解説や体験施設を作るのではなく、体験を通じて環境への理解を深めてもらう事業を行っております。

近年、子どもたちが公園で遊ぶことが少なくなってきております。この現状も踏まえて、積極的に環境教育を取り入れながら、公園利用の楽しさを提案できたらと思います。

今後は公園の特質に応じ、利用者や近隣住民の意見を反映しながら、専任の指導員育成をしていきたいと考えております。

●財政・運営部会

平成26年度事業計画案・収支予算案の作成、消費税改正に伴う料金改定等について審議した(2/3)

●技術委員会

京都で委員会を開催し、京都の庭園管理、剪定技術などの視察・研修を行った(12/16～17)

委員会等の活動

●総務委員会

各支部・各総支部の活動状況等の報告、26年度予算編成フレーム・火災保険特約サービス商品等について審議した(12/19)

編集後記 いよいよソチ五輪が開会しました。ずっと応援していた女子モーグルの上村愛子選手、メダルならず。だけど試合後の清々しいインタビューに感動し涙が止まりませんでした。ありがとう！

ホームページ制作なら

ガルテン・ブログ

ガルテンブログ

検索

更新が簡単！

成功の鍵である「更新」のしやすさを第一に考えた専用ソフト「にわ・なび」を標準装備

業界をよく知る オーセブンが作る から任せて安心

プレゼンツールに なるホームページ

iPadやサーバーを活用したプレゼンに使える「仕組」が入っています



造園屋 緑健アウトワード様

ユーザー様の声

サービス内容や施工事例を丁寧に紹介して行くことでエンドユーザーにご支持いただき、ありがたいことにほぼ毎日お問合せをいただいています。費用をかけてSEO対策をしなくても、アクセスやお問合せは増やせるんだという実感があります。自社で簡単に更新できるのは本当に助かりますね。

オーセブン株式会社

本社：〒338-0004 埼玉県さいたま市中央区本町西 6-4-14 TEL 048-840-1577 FAX 048-840-1579
支店：〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原 4-1-45 新大阪八千代ビル 3F TEL 06-4807-7737 FAX 06-4807-7727